

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-5-2	事務事業名 公民館活動事業 (市民企画事業)	所管部課 教育部 公民館
-----------------	------------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	市内にある自主的に学習するグループの学習の成果を地域に還元することにより、広く市民に多様な学習の機会を提供し、もって、より良い地域社会の創造を目指す。	
	対象…公民館に施設使用届けが提出してあり、市民を中心とした原則5人以上のグループで自主的に学習し、計画的、継続的な活動をしていること。懇談会…事業実施決定された団体は、企画懇談懇談会に出席し、事業企画に対しての市民周知意見交換を図る。事業報告会…実施団体は、事業内容・参加事業等の報告と企画事業で得られた成果等を報告する。このことで、各団体の企画力のノウハウなど共有し今後の団体活動や事業の企画実施に役立てる。	
事業開始時期	平成19 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (講師料市負担、講師派遣)

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		1,028	798	950	950
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		1,028	798	950	950
所要人員(B)	人	0.13	0.12	0.12	0.12
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,050	980	924	988
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,078	1,778	1,874	1,938
単位当たりコスト(E)=(D)/(参加人数)	千円	1	1	1	1

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①実施団体	実績値 団体	32	28	28	28
②参加人数	実績値 人	1,664	1,443	1,677	1,677
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一次	目標値				
	実績値				
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民自主グループの視点でないと、立案できない企画もある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市(小金井、国立、国分寺)で実施
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民レベルからの企画、実施、懇談会、報告会という事業形態が特徴的である。

事業コード 10-5-2	事務事業名 公民館活動事業（市民企画事業）	所管部課 教育部 公民館
-----------------	-----------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>この事業は、日ごろ地域で活動している市内の自主グループが、それまでの学習活動で培った知識やノウハウを活かして、企画する事業を一定の審査の上、公民館事業として実施することにより、市民に様々な学習機会を提供し、地域の問題や生活課題を解決し、豊かなまちづくりの一助とすることに意義があると考えます。</p> <p>また、自主グループが企画実施することで、グループの学習要求も同時に実現でき、さらに充実した活動が図れることにより、市内社会教育活動の活性化にも繋がる事業となっている。</p> <p>代表者が同一でグループ名を変えて申請するケースが多く見られるが現在の要綱では重複した申請も可能であるため、今後は要綱改正を行い、多くの自主グループ（新規）が申請できるよう対応を図る必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>公民館は、社会教育法に基づき住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興等に寄与することを目的として、社会教育事業の展開の場として各種主催事業を開催するとともに、市民にさまざまな学習機会を提供する市民企画事業も実施している。</p> <p>市民企画事業については、各グループへの重複参加者が多いという課題や多摩地区の他市において、市民企画事業に対する助成を実施している市が数市しかないという状況から、本市においても、市民企画事業の必要性やあり方について改めて検証し、今後の方向性を見極められたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、公民館主催事業と並び、市民の主体的な学び等を支援する目的で行われており、日ごろの学習成果を地域に還元する取組であるという点において、意義のあるものと考えられる。</p> <p>しかしながら、実施内容等については、改善の余地があることがこれまでの評価において明らかとなっているところであり、二次評価において指摘のあるとおり、まず、本事業の目指す目的が金銭的支援によってしか達成しえないものであるのか、他自治体等の状況を研究し、その必要性やあり方を検討されたい。</p> <p>また、運用上の課題である重複参加の問題等についても、より広く市民の利用に供することのできるような手法を確立されたい。</p>